

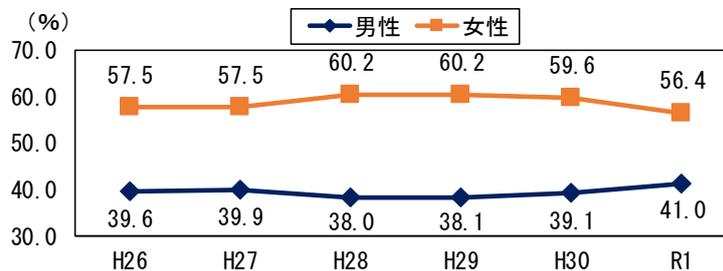
第3章 調査結果

1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

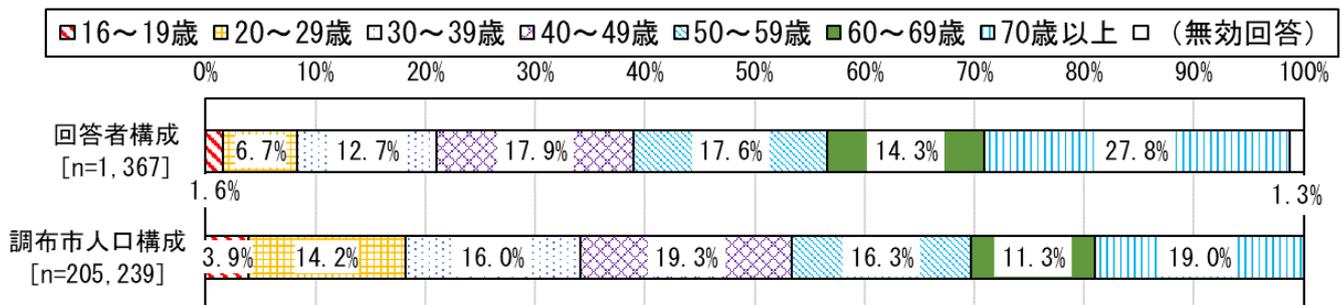
ア 性別

○回答者の性別構成比は、過去の傾向と同様、女性が男性を上回っています。



イ 年齢層別

○回答者の年齢層別構成比は、令和元年10月1日現在の16歳以上の調布市人口（日本人のみ）と比べて、40歳代までは低い一方、50歳代以上は高くなっています。



ウ その他

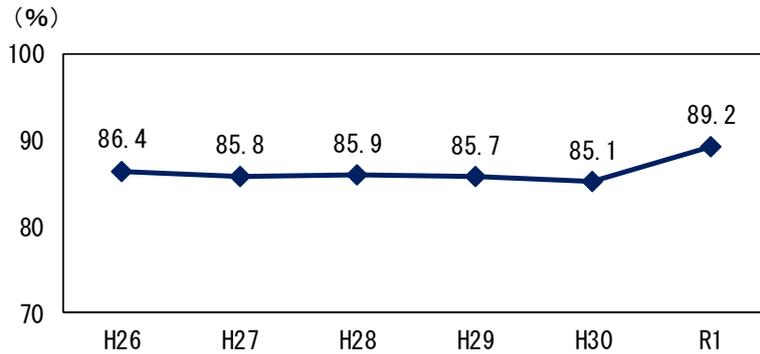
○回答者のその他の属性の特徴は以下のとおりです。

【図表 各属性において割合が高い上位3項目】

属性	割合が高い回答		
	第1位	第2位	第3位
職業	会社員・公務員など 35.3%	派遣・契約・嘱託社員, パート・アルバイト 18.2%	無職 16.7%
通勤(就業) ・通学先	東京23区内 46.6%	市内(自宅以外) 20.2%	多摩地域(東京23区・島し よを除く地域) 16.3%
住居形態	一戸建て(持ち家) 44.0%	集合住宅(分譲) 24.1%	集合住宅(賃貸) 20.4%
居住年数	30年以上 36.3%	10~20年未満 21.2%	20~30年未満 15.7%
前居住地	東京23区内 38.4%	多摩地域(東京23区内・島 しよを除く地域) 20.9%	調布市以外に住んだことが ない 8.9%

(2) 今後の定住意向

○調布市に住み続けたい人（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）は89.2%であり、直近6年（平成26年度～令和元年度）の中では最も高くなっています。



(3) 市政全般に対する満足度・優先度

ア 現在の満足度

<満足度・不満足度が高い項目>

○市民が普段の暮らしの中で感じている市政全般に関する46項目に対する満足度^{※1}（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）を見ると、昨年度第6位であった「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」が第1位となっています。その要因として、近隣自治体が台風などにより延期となる中、令和元年9月に開催した調布市花火大会は、当日の天候にも恵まれたことに加え、大玉50連発やラグビーワールドカップ日本大会及び東京2020大会に関連した新たなプログラムの実施などによるものと考えられます。

○一方、不満足度（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）において、第1位は昨年度に引き続き「道路整備」となっています。また、昨年度は33位であった「居住環境（バリアフリー・耐震化など）」が第2位となっています。

【図表 満足度及び不満足度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	平成30年度 順位/割合 (%)
満足	1	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	83.0%	6位/71.2
	2	ごみ処理	82.4%	2位/74.2
	3	日常の買い物の便利さ	82.0%	3位/73.8
	4	深大寺地域などの観光振興	80.8%	1位/76.0
	5	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策	80.5%	7位/70.8
不満	1	道路整備	43.6%	1位/46.3
	2	居住環境（バリアフリー・耐震化など） ^{※2}	36.6%	33位/20.3
	3	地震、風水害などへの災害対策 ^{※3}	29.6%	4位/32.1
	4	公園や遊び場	28.3%	2位/32.4
	5	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	26.2%	3位/32.3

※1 満足度は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の4段階で評価

※2 「居住環境（バリアフリー・耐震化など）」は、平成30年度までは「住宅環境」という質問項目になっていました。

※3 「地震、風水害などへの災害対策」は、平成30年度までは「地震などの災害対策」という質問項目になっていました。

<満足度の経年比較>

- 全項目の満足度の平均値について経年推移を見ると、令和元年度は昨年度と比較して 5.4 ポイント増加しています。また、直近5か年（平成 26 年度～平成 30 年度）の平均値を 8.8 ポイント上回っています。
- 満足度が、直近5か年（平成 26 年度～平成 30 年度）の平均値と比較して 10 ポイント以上増加した項目は、46 項目のうち 15 項目となっています。特に、防犯対策については 15.7 ポイント増加しています。「防犯対策」が最も増加した理由としては、特殊詐欺被害防止に有効な自動通話録音機の普及に向け、調布警察署等と連携した被害防止対策に取り組んでいるほか、地域の防犯活動への支援や青色回転灯装着車両による防犯パトロール活動の継続的な取組に加え、ラグビーワールドカップ日本大会に向けて調布駅・西調布駅・飛田給駅に防犯カメラを設置したことによるものと考えられます。
- 一方、「居住環境（バリアフリー・耐震化など）」が 10 ポイント以上減少しています。これは、平成 30 年度まで「住宅環境」という質問項目でしたが、より分かりやすく具体的な表記に変更したことに加え、令和元年 10 月の台風第 19 号に伴い、市内でも床上・床下浸水等の被害が発生し、市は、市制施行以来、初の避難勧告を発令するとともに、避難者は約 6 千人に達し、災害救助法の適用を受けたことも要因の一つと考えられます。市は、被害検証を踏まえ、国や東京都及び各種協定締結団体など、多様な主体との連携強化を図りながら、今後の防災対策の改善・強化に向けて取り組むこととしています。

【図表 全項目の満足度の平均値】

H26	H27	H28	H29	H30	過去平均値*	R1
58.8%	59.7%	60.1%	59.0%	63.6%	60.2%	69.0%

※ 一部、平成 30 年度から調査を開始した項目を含む

【図表 満足度が過去の平均値より 10 ポイント以上増減した項目】

	項目	増減* (ポイント)
満足度が 10 ポイント以上 増加した項目	防犯対策	15.7
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	13.7
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策	12.9
	市内工業・商業などの活力	12.0
	火災などへの消防対策	11.8
	日常の買い物の便利さ	11.7
	たづくりを中心とした生涯学習	11.5
	市民参加と協働の取組	11.2
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）を進める取組	11.1
	スポーツ振興	11.1
	市内中小企業に対する支援	10.7
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	10.7
	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	10.3
	歴史・文化財の保存や継承	10.3
青少年の非行防止や健全育成対策	10.2	
満足度が 10 ポイント以上 減少した項目	居住環境（バリアフリー・耐震化など）	▲11.9

※ 令和元年度の実績値から過去の平均値を引いた値

【図表 満足度の経年推移】

	項目	H26	H27	H28	H29	H30	過去平均値※1	R 1	増減※2 (ポイント)
基本目標 1	地震、風水害などへの災害対策 ※3	57.5%	59.7%	57.7%	61.4%	59.8%	59.2%	65.3%	6.0
	火災などへの消防対策	64.7%	66.9%	66.8%	67.9%	70.3%	67.3%	79.2%	11.8
	防犯対策	56.4%	61.6%	60.3%	32.1%	64.5%	55.0%	70.7%	15.7
基本目標 2	子育て支援サービス	51.4%	54.1%	51.9%	50.6%	59.4%	53.5%	61.2%	7.7
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	50.7%	51.8%	50.4%	49.0%	56.2%	51.6%	58.4%	6.8
	小・中学校の教育	56.5%	57.5%	56.7%	55.6%	62.5%	57.8%	62.0%	4.2
	青少年の非行防止や健全育成対策	52.7%	52.7%	54.2%	50.6%	59.0%	53.8%	64.0%	10.2
	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	44.1%	44.6%	44.8%	44.6%	50.7%	45.8%	54.5%	8.7
基本目標 3	高齢者の福祉	55.2%	55.7%	58.4%	57.4%	61.8%	57.7%	64.2%	6.5
	障害者の福祉	54.6%	54.9%	57.3%	56.6%	59.8%	56.6%	64.5%	7.9
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	48.5%	51.7%	50.8%	50.6%	56.2%	51.6%	62.3%	10.7
	健康診断などの保健サービス	66.1%	66.0%	66.1%	65.5%	69.2%	66.6%	73.2%	6.6
	病院・診療所などの医療機関	63.3%	64.7%	63.7%	64.9%	69.5%	65.2%	72.6%	7.4
基本目標 4	たづくりを中心とした生涯学習	64.3%	66.0%	65.6%	63.9%	69.4%	65.8%	77.3%	11.5
	公民館や図書館	70.0%	69.8%	70.1%	69.1%	73.0%	70.4%	74.8%	-
	公民館 図書館							77.9%	-
	スポーツ振興	63.4%	64.8%	64.0%	62.6%	69.4%	64.8%	75.9%	11.1
基本目標 5	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	58.7%	57.8%	58.7%	55.9%	63.2%	58.9%	67.7%	8.8
基本目標 6	日常の買い物の便利さ	67.9%	69.5%	69.2%	71.3%	73.8%	70.3%	82.0%	11.7
	市内工業・商業などの活力	48.0%	47.6%	50.2%	53.4%	58.2%	51.5%	63.5%	12.0
	市内中小企業に対する支援	45.9%	50.7%	51.7%	49.2%	56.9%	50.9%	61.6%	10.7
	深大寺地域などの観光振興	70.8%	70.2%	72.6%	69.5%	76.0%	71.8%	80.8%	9.0
	調布市花火大会（映画のまち調布花火） ※4	73.4%	76.4%	76.2%	66.6%	71.2%	72.8%	83.0%	10.3
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	62.3%	64.2%	63.0%	64.0%	69.0%	64.5%	75.6%	11.1
	グリーンホールなどを中心とした芸術・文化活動	67.6%	67.5%	68.7%	67.2%	71.7%	68.5%	78.3%	9.7
	歴史・文化財の保存や継承	65.9%	68.1%	67.8%	65.6%	70.8%	67.6%	77.9%	10.3
基本目標 7	街並み・景観	58.0%	59.8%	61.7%	60.8%	63.4%	60.7%	67.7%	7.0
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	49.5%	51.7%	52.9%	60.2%	62.3%	55.3%	69.1%	13.7
	居住環境（バリアフリー・耐震化など） ※5	64.8%	63.2%	66.3%	63.9%	70.5%	65.7%	53.8%	-11.9
	道路整備	42.5%	42.7%	43.3%	40.7%	45.4%	42.9%	49.7%	6.8
基本目標 8	緑の保全や自然環境	68.8%	71.6%	70.6%	68.7%	68.5%	69.6%	78.1%	8.4
	公園や遊び場	57.9%	58.2%	58.0%	56.7%	58.0%	57.8%	65.2%	7.4
	ごみ処理	74.7%	73.4%	72.9%	72.9%	74.2%	73.6%	82.4%	8.8
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策	65.9%	66.5%	67.3%	67.4%	70.8%	67.6%	80.5%	12.9
まちづくりの 基本理念を実現するために	平和・国際交流の取組	-	-	-	-	-	-	72.5%	-
	人権に関する啓発・相談	-	-	-	-	-	-	71.9%	-
	女性の社会参加・参画	59.1%	58.5%	57.6%	56.4%	61.6%	58.6%	67.9%	9.2
行革プラン 2019	市民参加と協働の取組	58.8%	57.9%	59.7%	55.3%	60.6%	58.5%	69.6%	11.2
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	60.8%	60.7%	62.1%	58.5%	-	60.5%	70.3%	9.8
	ホームページの見やすさ	60.8%	60.7%	62.1%	58.5%	57.5%	59.9%	62.8%	2.9
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	56.7%	55.6%	56.6%	53.6%	58.9%	56.3%	64.7%	8.5
	窓口・電話における職員の対応	67.2%	65.3%	68.4%	64.7%	69.7%	67.1%	74.8%	7.7
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	47.8%	50.4%	51.3%	49.9%	55.1%	50.9%	60.9%	9.96
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	-	-	-	-	58.2%	58.2%	63.1%	4.9
	行政評価の取組	48.2%	50.8%	52.1%	50.8%	55.8%	51.5%	61.5%	9.98
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	45.3%	47.6%	49.6%	47.7%	53.4%	48.7%	58.0%	9.3

※1 平成26年度～平成30年度の平均値

※2 令和元年度の実績値から過去平均値を差し引いた値

※3 「地震、風水害などへの災害対策」は、平成30年度までは「地震などの災害対策」という質問項目でした。

※4 調布市花火大会は平成25～28年度夏開催、平成29年度（秋開催）は中止。平成30年度は秋（10月27日）開催、令和元年度は秋（9月7日）開催。

※5 「居住環境（バリアフリー・耐震化など）」は、平成30年度までは「住宅環境」という質問項目でした。

<満足度の平均スコア>

○全 46 項目について、令和元年度の回答結果の加重平均（重み付け）により満足度平均スコア※を算出したところ、46 項目の満足度平均スコアがプラスとなっており、中でも「調布市花火大会」が 1.049 と最も高くなっています。次いで「日常の買い物の便利さ」が 0.975, 「深大寺地域などの観光振興」が 0.971 の順になっています。その要因としては、トリエ京王調布の開業（平成29年9月）や深大寺の白鳳仏（銅造釈迦如来倚像）の国宝指定（平成29年9月）などによるものと考えられます。

※ {「満足している」回答者数×2+「どちらかといえば満足している」回答者数×1+「どちらかといえば不満である」回答者数×(-1)+「不満である」回答者数×(-2)} / (全回答者数-無効回答数) で算出

【図表 満足度の平均スコア】

分野別計画	第1節	地震、風水害などへの災害対策	0.405
		火災などへの消防対策	0.776
		防犯対策	0.572
	第2節	子育て支援サービス	0.513
		ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.490
		小・中学校の教育	0.536
		青少年の非行防止や健全育成対策	0.624
		就労などの面で困難をかかえる者への支援	0.371
	第3節	高齢者の福祉	0.483
		障害者の福祉	0.561
		雇用・就職に向けた取組	0.534
		健康診断などの保健サービス	0.707
	第4節	病院・診療所などの医療機関	0.684
		たづくりを中心とした生涯学習	0.867
		公民館	0.795
		図書館	0.920
	第5節	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	0.604
	第6節	日常の買い物の便利さ	0.975
		市内工業・商業などの活力	0.504
		市内中小企業に対する支援	0.537
深大寺地域などの観光振興		0.971	
調布市花火大会（映画のまち調布花火）※3		1.049	
画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち」を進める取組		0.842	
グリーンホールなどを中心とした芸術・文化活動		0.902	
歴史・文化財の保存や継承	0.905		
第7節	街並み・景観	0.530	
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	0.564	
	居住環境（バリアフリー・耐震化など）※4	0.190	
第8節	道路整備	0.016	
	緑の保全や自然環境	0.800	
	公園や遊び場	0.463	
	ごみ処理	0.941	
第9節	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策	0.846	
	平和・国際交流の取組	0.774	
	人権に関する啓発・相談	0.747	
	女性の社会参加・参画	0.620	
	市民参加と協働の取組	0.715	
行革プラン2019	エイスブック、調布エフェムなどを活用した市政情報の発信	0.696	
	ホームページの見やすさ	0.488	
	民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.612	
	窓口・電話における職員の対応	0.780	
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.455	
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.560	
	行政評価の取組	0.532	
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	0.434	

※ 0.016 は、上位又は下位 3 項目

イ 今後の優先度

＜優先度が高い項目＞

○市民が普段の暮らしの中で感じている市政全般に関する46項目に対する優先度※（「最優先かつ重点的に取り組むべきである」＋「優先して取り組むべきである」）を見ると、昨年度と同様「地震，風水害などへの災害対策」が第1位となっています。次いで，第2位は「道路整備」，第3位は「防犯対策」となっています。

【図表 優先度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	平成30年度 順位/割合 (%)
優先	1	地震，風水害などへの災害対策	68.0%	1位/69.0
	2	道路整備	52.5%	2位/58.2
	3	防犯対策	50.5%	4位/55.8
	4	子育て支援サービス	48.4%	3位/57.3
	5	居住環境（バリアフリー・耐震化など）	48.3%	22位/37.4
他を優先	1	調布市花火大会（映画のまち調布花火）	68.4%	2位/62.2
	2	公民館	66.7%	10位/55.5
	3	たづくりを中心とした生涯学習	65.5%	5位/60.1
	4	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	65.4%	8位/57.5
	5	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	65.0%	3位/61.4

※ 優先度は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」，「優先して取り組むべきである」，「現状の取組を維持すればよい」，「他の取組を優先すべきである」の4段階で評価

<優先度の平均スコア>

○全 46 項目について、令和元年度の回答結果の加重平均（重み付け）により優先度平均スコア※を算出しました。優先度スコアがプラスとなっているのは 14 項目で、「地震、風水害などへの災害対策」が 0.895 と最も高く、次いで「子育て支援サービス」が 0.390、「道路整備」が 0.375 の順となっており、昨年度と同様の傾向となっています。

○一方、「公民館（-0.632）」や「たづくりを中心とした生涯学習（-0.618）」、「調布市花火大会（映画のまち調布花火）（-0.605）」などの 32 項目は、優先度平均スコアがマイナスになっています。

※ {「最優先かつ重点的に取り組むべきである」回答者数×2+「優先して取り組むべきである」回答者数×1+「現状の取組を維持すればよい」回答者数×(-1)+「他の取組を優先すべきである」回答者数×(-2)} / (回答者数-無効回答数) で算出

【図表 優先度の平均スコア】

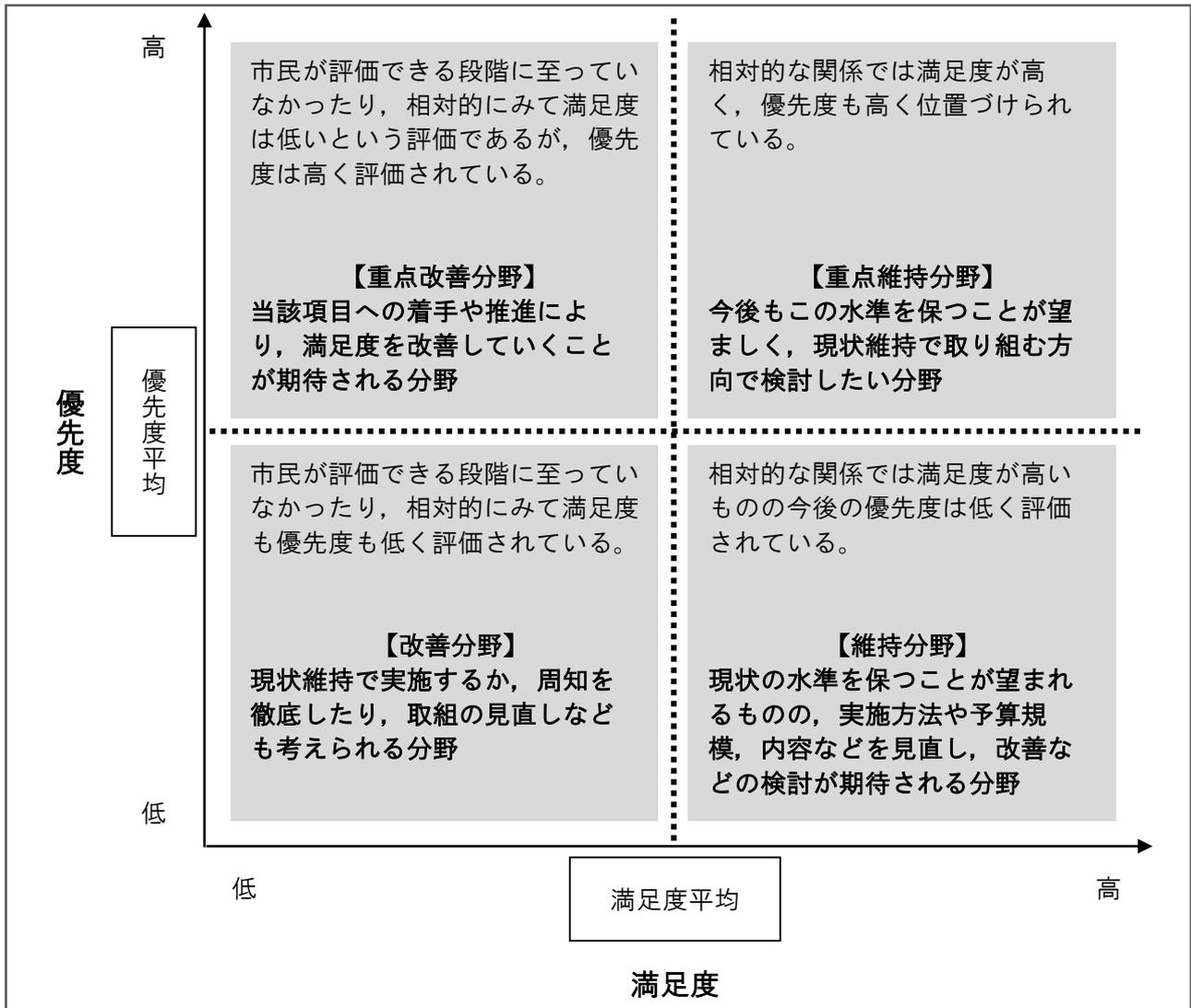
分野別計画	第1節	地震、風水害などへの災害対策		0.895
		火災などへの消防対策		0.186
		防犯対策		0.342
	第2節	子育て支援サービス		0.390
		ひとり親家庭への生活・経済面の支援		0.224
		小・中学校の教育		0.241
		青少年の非行防止や健全育成対策		0.052
		就労などの面で困難をかかえる若者への支援		0.246
	第3節	高齢者の福祉		0.247
		障害者の福祉		0.179
		雇用・就職に向けた取組		-0.144
		健康診断などの保健サービス		-0.054
	病院・診療所などの医療機関		0.018	
第4節	たづくりを中心とした生涯学習		-0.618	
	公民館		-0.632	
	図書館		-0.471	
	スポーツ振興		-0.533	
第5節	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援		-0.499	
第6節	日常の買い物の便利さ		-0.383	
	市内工業・商業などの活力		-0.263	
	市内中小企業に対する支援		-0.308	
	深大寺地域などの観光振興		-0.505	
	調布市花火大会（映画のまち調布花火）※3		-0.605	
	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”）グリーンホールなどを中心とした芸術・文化活動 歴史・文化財の保存や継承		-0.577 -0.536 -0.458	
第7節	街並み・景観		-0.057	
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい 居住環境（バリアフリー・耐震化など）※4		-0.120 0.285	
	道路整備		0.375	
第8節	緑の保全や自然環境		-0.067	
	公園や遊び場 ごみ処理		0.053 -0.215	
第9節	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策		-0.343	
	平和・国際交流の取組		-0.477	
	人権に関する啓発・相談 女性の社会参加・参画		-0.447 -0.292	
行革 プラン2019	市民参加と協働の取組		-0.506	
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した広報の取組		-0.509	
	ホームページの見やすさ		-0.335	
	民間活力の活用推進など簡素で効率的な組織づくりの取組		-0.387	
	窓口・電話における職員の対応		-0.427	
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組		-0.238	
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組		-0.255	
	行政評価の取組		-0.225	
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など		-0.058		

※ 0.895 は、上位又は下位 3 項目

ウ 満足度と優先度の比較

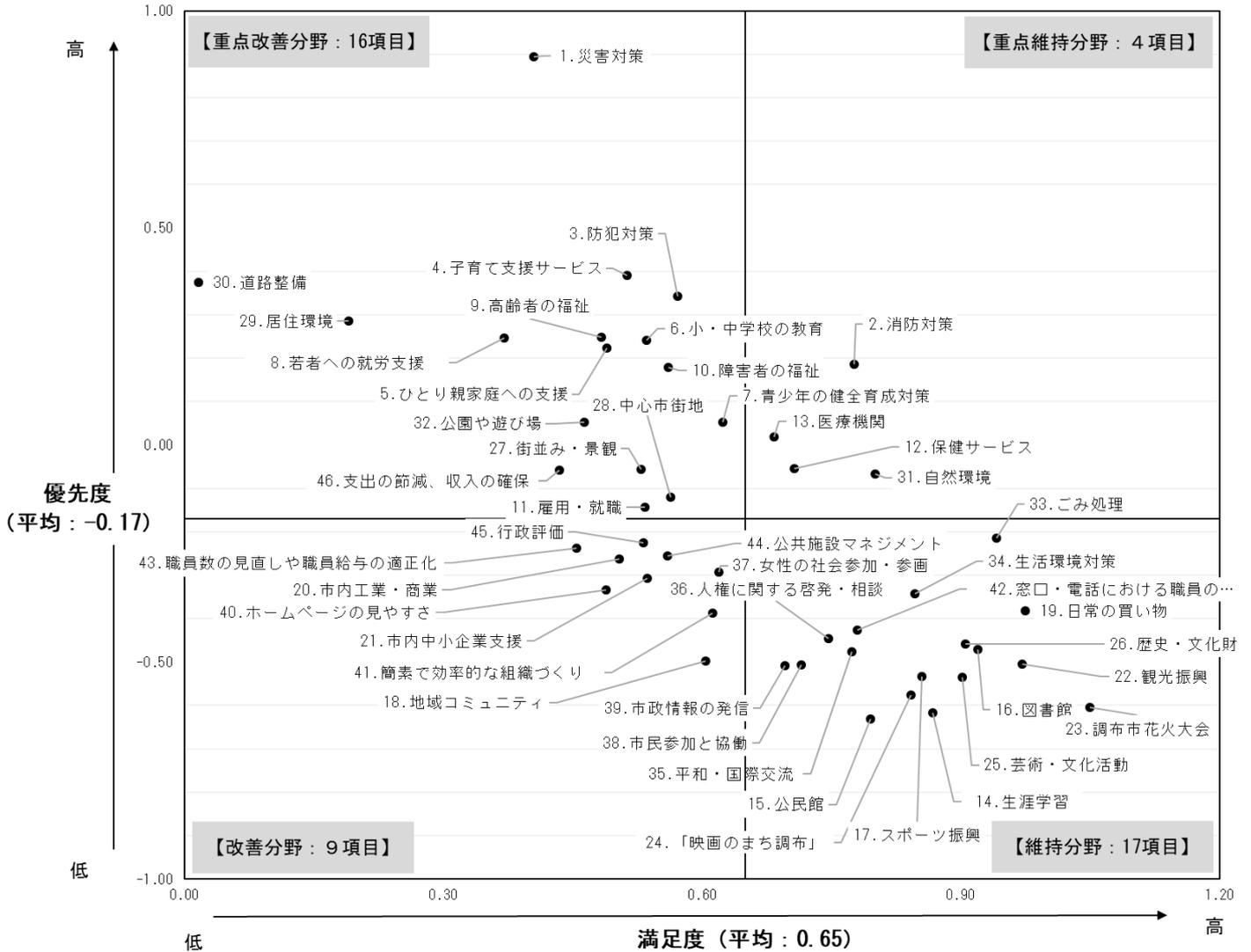
- 満足度（満足度平均スコア）を横軸，優先度（優先度平均スコア）を縦軸にとり，4つの区分に分類しました。
- 4区分のうち，左上の区分は，優先度が高いものの，満足度が低く，ニーズが相対的に高い項目となっています。一方，右下の区分は，満足度が高いものの，優先度が低く，ニーズが相対的に低い項目となっています。

【図表 満足度・優先度散布図の概念】



- 本調査の満足度・優先度散布図を見ると、46項目はおおむね左上の「重点改善分野」（満足度：低，優先度：高）から右下の「維持分野」（満足度：高，優先度：低）にかけて分布しており，優先度が高い分野ほど，満足度が低い傾向にあることが分かります。
- ニーズが高い，左上の「重点改善分野」には16項目が該当しています。

【図表 満足度・優先度散布図】



(4) まちづくり指標

- 基本計画のまちづくり指標に該当している 29 項目のうち、初年度である令和元年度で目標値を達成した項目は 4 項目ありました。
- 現状値と目標値の差が 10 ポイント以上ある指標は、「災害が発生した際、避難する避難所や家族等との連絡方法を決めている市民の割合（避難所）」、「地域活動に参加している市民の割合」、「定期的ながん検診を受けている市民の割合」、「地域の一人としての連帯感を感じている市民の割合」、「中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合」、「地域活動に参加している市民の割合」、「駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合」、「バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合」と「空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合」、「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」になります。
- 現状値と目標値の差が 5 ポイント以内の指標は、「子ども家庭支援センターすこやかななどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合」、「学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合」、「市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合」、「住みやすいと感じている市民の割合」、「市内に優れた景観があると感じている市民の割合」、「深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合」「普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合」、「市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合」になります。

【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差】

基本目標	施策	基準値 (H30年度)	現状値 (R1年度)	目標値 (R4年度)	現状値と 目標値の 差
基本目標1	施策01	71.4% [*] 60.5% [*]	55.9% 60.7%	75.0% 70.0%	▲19.1 ▲9.3
	施策02	83.3%	81.9%	90.0%	▲8.1
基本目標2	施策04	59.4%	61.2%	70.0%	▲8.8
	施策04	37.6%	47.3%	50.0%	▲2.7
基本目標3	施策08	56.3%	58.1%	65.0%	▲6.9
	施策12	74.1%	74.2%	80.0%	▲5.8
	施策12	58.0%	49.2%	60.0%	▲10.8
基本目標4	施策13	38.6%	40.0%	40.0%	±0
	施策13	68.3% [*] 41.2% [*]	77.9% 74.8%	75.0% 50.0%	2.9 24.8
	施策13	19.3%	20.6%	25.0%	▲4.4
	施策14	63.9%	62.8%	70.0%	▲7.2
基本目標5	施策15	35.8%	31.4%	50.0%	▲18.6
	施策15	26.4%	22.7%	33.0%	▲10.3
基本目標6	施策16	73.8%	82.0%	80.0%	2.0
	施策17	69.0%	75.7%	75.0%	0.7
	施策18	56.0%	55.8%	60.0%	▲4.2
	施策19	53.9%	51.1%	60.0%	▲8.9
基本目標7	施策21	93.0%	94.2%	95.0%	▲0.8
	施策21	82.5%	85.1%	90.0%	▲4.9
	施策22	67.8%	67.1%	80.0%	▲12.9
	施策22	67.0%	69.7%	80.0%	▲10.3
	施策22	89.0%	89.6%	90.0%	▲0.4
	施策23	51.7%	48.9%	65.0%	▲16.1
	施策23	-	67.6%	80.0%	▲12.4
	施策24	72.0%	50.0%	75.0%	▲25.0
	施策24	58.6%(徒歩) [*]	57.4(徒歩)	60.0%(徒歩)	▲2.6
	施策25	76.3%	75.2%	77.0%	▲1.8
	施策29	19.5%	13.8%	20.0%	▲6.2
施策30	84.9%	83.6%	90.0%	▲6.4	

※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（調査期間：H30.12.28～H31.1.18）」による把握値

- ※1「空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合」は、基本計画（令和元年度～令和4年度）のまちづくり指標として新たに設定した指標で、本調査にて初めて現状値を把握しました。
- ※2「自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」は、基本計画（令和元年度～令和4年度）のまちづくり指標として新たに設定した指標で、平成30年度に新設した「自宅などから目的地に向かうときに市内を円滑に移動できる道路が備わっていると思いますか。」という質問項目を、「市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。」に更新し、調査した結果です。

(5) 調布市総合戦略の基本目標における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）

調布市総合戦略では、基本目標毎に設定する「基本目標における数値目標」と施策毎に設定する「重要業績評価指標（KPI）」の2種類の成果指標を設けています。

【参考】基本計画のまちづくり指標での位置づけの欄に記載がない指標は、基本計画のまちづくり指標としては設定していませんが、総合戦略の数値目標及びKPIとして設定している指標です。

指標のうち「治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合」は計画期間5年間を通じて、総合戦略の目標値を達成しています。「災害時に自宅から避難する場所（避難所）を決めている市民の割合」、「家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女が共に担う必要があると考える市民の割合」、「深大寺地域など観光振興に満足している市民の割合」、「日常の買物が便利と感じている市民の割合」、「調布市における2020年オリンピック・パラリンピックに向けた取組に参加したい、または関心がある市民の割合」は、令和元年度では総合戦略の目標値を達成しています。

【図表 総合戦略の基本目標における数値目標及びKPIとまちづくり指標】

指標名	H27	H28	H29	H30	過去 平均値	R1	平均値 対比	総合戦略		【参考】基本計画のまちづくり 指標での位置づけ	
								基本目標・施策	目標値 (R1)	施策	目標値 (R4)
<総合戦略基本目標1>市民生活支援を基調とした安全・安心な暮らしの確保											
基本目標における数値目標											
調布市に定住意向がある市民の中で、調布のまちが安全で安心して暮らせると感じている市民の割合	39.2%	36.5%	37.8%	42.4%	39.0%	34.7%	↓	【基本目標1】 市民生活支援を基調とした 安全・安心な暮らし	50.0% 以上	—	—
健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動に参加している高齢者の割合	41.8%	41.7%	40.9%	45.1%	42.4%	36.3%	↓		50.0% 以上	—	—
重要業績評価指標（KPI）											
災害時に自宅から避難する場所（避難所）を決めている市民の割合※	35.1%	40.2%	38.7%	38.4%	38.1%	55.9%	↑	【A-①】防災体制の充実	50.0% 以上	01-1 災害が発生した際、 避難する避難所や家 族等との連絡方法を 決めている市民の割 合（避難所）	75.0%
調布市に定住意向がある市民の中で、調布のまちが安全で安心して暮らせると感じている市民の割合	39.2%	36.5%	37.8%	42.4%	39.0%	34.7%	↓		50.0% 以上	—	—
治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合	81.0%	80.4%	84.4%	83.3%	82.3%	81.9%	→	【A-③】身近な犯罪に対す る防犯意識向上と防犯活動の 推進	80.0% 以上	02-1 身近な犯罪に対す る防犯意識向上と防犯 活動の推進	90.0%
地域の一員として連帯感を感じている市民の割合	39.8%	37.4%	40.0%	35.8%	38.3%	31.4%	↓	【A-⑥】地域コミュニティ の活性化に向けた支援	50.0% 以上	15-1 地域コミュニティの 活性化に向けた支援	50.0%
バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合	49.0%	47.3%	48.8%	51.7%	49.2%	48.9%	→	【B-②】良好な居住環境の 形成を支援	65.0% 以上	23-2 良好な居住環境の形 成と支援	65.0%
地域包括支援センターを知っている高齢者の割合	52.1%	50.0%	57.5%	56.3%	54.0%	58.1%	↑	【C-②】在宅生活の支援	60.0% 以上	08-1 地域包括ケアのネッ トワークの構築	65.0%
健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動に参加している高齢者の割合	41.8%	41.7%	40.9%	45.1%	42.4%	36.3%	↓	【C-③】高齢者の社会参加 の促進及び健康づくり推進	50.0% 以上	—	—

※「災害時に自宅から避難する場所（避難所）を決めている市民の割合」の平成30年度実績値は、「平成30年度市民意識調査」による把握値。令和元年度実績値は、本調査の間14「日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか」について、「災害時に自宅から避難する場所（避難所・自宅の上層階・親族や友人、知人宅）をあらかじめ決めている」と答えた市民の割合。

第3章 調査結果<調査結果の概要>

指標名	H27	H28	H29	H30	過去 平均値	R1	平均値 対比	総合戦略		【参考】基本計画のまちづくり 指標での位置づけ	
								基本目標・施策	目標値 (R1)	施策	目標値 (R4)
<総合戦略基本目標2> 安定した人口構造を保持するためのまちづくりの推進											
基本目標における数値目標											
家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女が共に担う必要があると考える市民の割合	94.7%	96.1%	94.7%	95.7%	95.3%	95.7%	→	【基本目標2】 安定した人口構造を保持するためのまちづくりの推進	95.0% 以上	-	-
重要業績評価指標 (KPI)											
子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合	33.2%	35.9%	36.0%	37.6%	35.7%	47.3%	↑	【D-③】子どもの健やかな成長の支援	50.0% 以上	04-2 子どもの健やかな成長の支援	50.0%
家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女が共に担う必要があると考える市民の割合	94.7%	96.1%	94.7%	95.7%	95.3%	95.7%	→	【E-②】ワーク・ライフバランスの実現	95.0% 以上	-	-
<総合戦略基本目標3> 調布のまちの魅力の発信により、交流人口の増加を図るとともに、定住化を促進し、まちを発展											
基本目標における数値目標											
住みやすいと感じている市民の割合	89.8%	89.9%	91.5%	93.0%	91.1%	94.2%	↑	【基本目標3】 調布のまちの魅力の発信により、交流人口の増加を図るとともに、定住化を促進し、まちを発展	95.0% 以上	21-1 適正な土地利用の推進	95.0%
中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	53.1%	54.8%	66.1%	67.8%	60.5%	67.1%	↑		70.0% 以上	22-1 魅力的な中心市街地の形成	80.0%
市内に優れた景観があると感じている市民の割合	89.8%	83.4%	81.3%	82.5%	84.3%	85.1%	→		90.0% 以上	21-2 景観まちづくりの推進	90.0%
深大寺地域など観光振興に満足している市民の割合	70.2%	72.6%	69.5%	76.0%	72.1%	80.8%	↑		80.0% 以上	-	-
重要業績評価指標 (KPI)											
中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	53.1%	54.8%	66.1%	67.8%	60.5%	67.1%	↑	【F-①】魅力的な中心市街地の形成	70.0% 以上	22-1 魅力的な中心市街地の形成	80.0%
駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	63.6%	64.8%	68.9%	67.0%	66.1%	69.7%	↑	【F-②】駅周辺におけるまちづくり	70.0% 以上	22-2 駅周辺におけるまちづくり	80.0%
普段利用する市内の道路が安全であると感じている市民の割合	51.8%	48.7%	49.1%	51.7%	50.3%	54.4%	↑	【F-③】円滑に移動できる道路網の整備	60.0% 以上	-	-
市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合	74.0%	73.9%	74.8%	76.3%	74.8%	75.2%	→	【F-④】公共交通ネットワークの形成	80.0% 以上	25-1 公共交通ネットワークの形成	77.0%
日常の買物が便利と感じている市民の割合	69.5%	69.2%	71.3%	73.8%	71.0%	82.0%	↑	【G-①】にぎわいを創出する商店街等の支援	80.0% 以上	16-1 にぎわいを創出する商業活性化の支援	-
深大寺地域など観光振興に満足している市民の割合	70.2%	72.6%	69.5%	76.0%	72.1%	80.8%	↑	【G-⑥】地域資源を活用したにぎわいの創出	80.0% 以上	-	-
運動を週に1回以上行っている市民の割合	60.5%	61.7%	62.7%	63.9%	62.2%	62.8%	→	【G-⑦】ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	70.0% 以上	14-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	70.0%
調布市における2020年オリンピック・パラリンピックに向けた取組に参加したい、または関心がある市民の割合	-	39.9%	39.3%	42.5%	40.6%	60.5%	↑	【H-①】オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進	60.0%	-	-
市内に優れた景観があると感じている市民の割合	89.8%	83.4%	81.3%	82.5%	84.3%	85.1%	→	【J-①】景観まちづくりの推進	90.0%	21-2 景観まちづくりの推進	90.0%
深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	87.2%	88.2%	87.6%	89.0%	88.0%	89.6%	↑	【J-②】深大寺地区におけるまちづくり	90.0% 以上	22-3 深大寺地区におけるまちづくり	90.0%

※ 平均値対比は、「R1」実績値と「H26～30 平均値」との差分を示したもの

↑ …差分が1ポイントより大きい → …差分が±1ポイント以内 ↓ …差分が-1ポイントより小さい